

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	間講キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	環境保全園芸学特別演習 II			実務経験		Active・L ○
科目コード	642331	単位数	2単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	山口 健一					
授業概要	環境保全園芸学特論 I・II の講義および環境保全園芸学特別実験で修得した知識および技術をもとに、環境保全園芸学に関する高度な研究の実例を学術論文・書籍等（英文）を教材として議論し、当該専門分野の背景や手法、現状について理解することを目的とする。					
関連する科目	履修後： 環境保全園芸学特別演習 I					
授業の方法と進め方	提示する専門書あるいは学術論文（英文）について、受講生が事前に調べてプレゼンテーションを行う。それをもとに教員を含めた受講生で深く討議する。					
授業計画	<p>01. 授業の進め方とプレゼンテーション例 受講生の課題を決定するとともにプレゼンテーションについて説明する。</p> <p>02. プレゼンテーションおよび質疑応答 I 課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>03. プレゼンテーションおよび質疑応答 II 課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>04. プレゼンテーションおよび質疑応答 III 課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>05. プレゼンテーションおよび質疑応答 IV 課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>06. プレゼンテーションおよび質疑応答 V 課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>07. プレゼンテーションおよび質疑応答 VI 課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>08. 総括 前半についてまとめを行う。</p> <p>09. 授業の進め方（後半） 後半の受講生の課題を決定する。</p> <p>10. 後半のプレゼンテーションおよび質疑応答 VII 後半の課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>11. 後半のプレゼンテーションおよび質疑応答 VIII 後半の課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>12. 後半のプレゼンテーションおよび質疑応答 IX 後半の課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>13. 後半のプレゼンテーションおよび質疑応答 X 後半の課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>14. 後半のプレゼンテーションおよび質疑応答 XI 後半の課題に対するプレゼンテーションと受講生間で質疑応答を行う。</p> <p>15. 総括 後半についてまとめを行う。</p>					
授業の達成目標	専門分野における科学論文（英文）について、読解力および要点を纏めて発表する力を身につける。					
授業時間外の学修	<p>次回の課題をアナウンスするので、各自で予習を行う。（30分程度）</p> <p>授業で用いた学術論文の内容について受講生各自で毎回復習する。（1時間程度）</p> <p>なお、不明な箇所は、必ず教員に質問して学びを深める。</p>					
課題に対するフィードバック	授業内の討議で出た質問等については、補足および理由を付して正答を示すとともに、受講生間で共有する。	評価方法・基準		各プレゼンターについては理解度および発表力（50点）を、その他については質問の的確さおよび受講態度（50点）を総合的に評価する。		
テキスト	受講生各自の課題（英語論文）を第1回授業で発表、配布する。					
参考書	課題毎に関係する書籍・論文等を適宜紹介する。					
備考						